



2026 DSF 総会

第70号 2026年 DSF 総会 開催

2026年

今年はどのような年になるのでしょうか？

干支は【丙午】（ひのえうま）

躍動する「午」に火の力が合わさった勢いのある年だそうです。

『無事名馬』・・・怪我無く無事に走り続ける馬は、例え能力が劣っていても結果的には名馬である。ということだそうです。それぞれのビジネスの中で1分1秒たりとも足を止めずに、時代の流れを嗅ぎ取り先へ先へと邁進する中にも、足元の一つ一つを大事にして健全・健康で無事に歩みを進めていくことが最も大事ではないでしょうか。

今年も健全で健康に頑張っていきましょう！

との司会からのご紹介で、午前中からの理事会に続き、今年も活動のスタートミーティングとなる『2026年DSF総会』が、1月30日（金）TKP東京駅カンファレンスセンターに於いて開催されました。会員様リアル36名Zoom37名の出席を得て、富士フイルムビジネスイノベーションジャパンGC営業統括部の不破晶子さんの司会進行で始まりました。



司会：不破 晶子さん

* 開会ご挨拶

■DSF会長：今野 均 氏 〔株式会社 ユーメディア 社長〕

冒頭にご自身の年末年始の過ごし方について触れられ、ゴルフ練習1000球、ジム10時間、読書5冊という自身の目標について話されました。読書では『歎異抄』（司馬遼太郎）の話に触れられ「無義をもって義とする」を紹介され、固定観念を変え、考え方と行動を大きく変える一年にしていましようと言われました。またDSFは1997年にスタートしてから来年30周年を迎えます。会員数を増やしながら継続的に活動ができているというのは非常に稀有な存在であり、30周年に向けたいろいろな企画も立てていきたいと思っていることを伝えられました。結びの言葉として、今年も一年、皆様とご家族の方々のご健康とご多幸を祈念しますと、開会のご挨拶を述べられました。



今野会長

■富士フイルムビジネスイノベーション：木田 裕士 氏 〔富士フイルムビジネスイノベーション 株式会社 取締役 執行役員〕

続いて富士フイルムBIより木田取締役GC事業本部長が登壇し、自身の怪我について話され、風評リスク（レピュテーションリスク）の恐ろしさに関して米国ゼロックス社の業績に言及し、戦略的パートナーとしての風評が生じかねないことを懸念していると述べられました。そしてAI搭載のRevoriaに関しては今後さらなるバージョンアップしていくことと、会社運営にはAI活用は不可避であり、生産性・価値向上に取り組む必要性があることを強調されました。DSFは最重要パートナーであり、活動を通じて共に価値創造をしていきたいと述べられ話を締めくくりました。



木田 取締役

■今野 均 氏
〔株式会社 ユーメディア 社長〕

2025年度は積極的なご参加ありがとうございました。2025年の活動については、昨年の全国発表大会で共有された内容を基に各研究会の成果を振り返るためのものなので是非各自で報告内容をご覧ください。

2026年度の活動計画については、以下のスケジュールが予定されています。

- ・総会： 1月30日 本日（TKP東京駅カンファレンスセンター）
- ・中間発表会： 7月3日・4日（大阪予定）
- ・全国発表大会： 11月13日

研究会活動のフォーメーションに関しては、担当理事とリーダーは基本的に継続するものの、各研究会の活動を継続的に進めていくためには今後のリーダー、サブリーダー等の人事育成を進めていく事が重要だと強調されました。そして研究会活動をさらに盛り上げ、有意義な会にしていきたいと思います。

総会・中間発表会・全国発表大会の年間スケジュールは決まっておりますのでスケジュールいただき、多くの皆様の参加を期待しています。



今野会長

◆2026年活動計画（全体スケジュール）

イベント	開催日程	開催時間	結果
➤新年会	2026年 1月 29日（木）	18:00～20:30	銀座「花蝶」
➤理事会①	2026年 1月 30日（金）	10:00～11:30	TKP東京駅カンファレンスセンター
➤総会	2026年 1月 30日（金）	13:30～17:30	TKP東京駅カンファレンスセンター
➤各ビジネス研究会	2026年 4月～10月		分科会ごとのテーマに沿って、1回/月研究会を実施
➤中間発表会	2026年 7月 3・4日（金・土）	13:30～17:30	大阪にて開催予定
➤理事会②	2026年 11月13日（金）	10:00～11:30	会場未定
➤全国発表大会	2026年 11月 13日（金）	13:30～17:30	会場未定
➤社会貢献活動	2026年 7月～11月	全66校	※今年もご協力をお願いします

※各研究会は1月総会にてスタートミーティング、4月からの活動スタート

◆2026年活動計画（各ビジネス研究会活動フォーメーション）

分科会名	担当理事	リーダー	サブリーダー
デジタルマーケティング	笹井（共立連記印刷）	山本（ヤマモトコミュニケーションズ）	重松（アピックス）
人材育成	山本（東洋美術印刷）	中條（河北印刷）	茂野（白橋）
DX	鴻村（コムラ）	林（敬）（オーディビーセンター）	及川（東洋美術印刷） 小森（コムラ）
ODPグラフィック	木全（三恵社）	根本（東洋美術印刷）	伊藤（アルファビジネス）
経営者の会	矢野（明光社）		
社会貢献活動	生島（オンデマンド）		

（敬称略：順不同）

* 2025年会計報告・2026年予算計画

■会計監査担当理事：生島 裕久 氏
〔株式会社 オンデマンド 社長〕

本日の理事会で2025年度の会計報告が承認され、2026年度の予算計画が議論されました。

【2025年度会計報告】

- ・総収入：5,012,852円（年会費、協賛金、前期繰越金含む）
- ・総支出：3,093,799円（ビジネス研究会活動費、運営費、大会活動費等）
- ※対予算(3,350,000円)内での支出
- ・次期繰越金：1,919,053円

【2026年度予算計画】

- ・総収入：4,739,053円（年会費、協賛金、前期繰越金含む）
- ・総支出：3,195,000円（ビジネス研究会活動費、運営費、大会活動費等）
- ・次期繰越金：1,544,053 円予定
（単年度収支：▲375,000円）
- ・周年事業基金：費消予定無く、1,023,900円を継続

今後の活動費用の縮減も検討しつつ、富士フイルムBI様の協力を得ながら、各活動を進める計画です。とご報告されました。



生島 会計監査担当理事

＊ 新規ご入会企業のご紹介・ご挨拶

■片野 宏哉 氏
〔大和出版印刷 株式会社〕

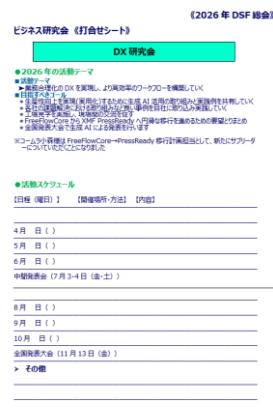
昨年2025年のトライアル活動に続き、2026年より正式にDSF会員として入会させていただきました。本社を神戸に置き、1948年の創業以来、時代とともにその手段は変化してきましたが、お客様の「伝える」ということを形にしてサービスを提供させていただいております。情報を扱うプロ集団としての自負や信頼を進化させていくため、常に学び、成長し続けることを継続して印刷「も」できる印刷会社としてお客様に柔軟に寄り添いながら事業を進めております。DSFには積極的に活動に参加させていただきますので、よろしくお願いいたします。



片野 氏

*** 各ビジネス研究会による分科会ミーティング**

その後、各ビジネス研究会による分科会ミーティングで、活動テーマのシェアから年間計画・スケジュール・目標等が議論されました。



*** 各研究会からの2026年活動計画の発表**

デジタルマーケティング研究会

■リーダー：山本 堅嗣宣 氏
〔ヤマゼンコミュニケーションズ 株式会社 社長〕

今年度もデジタルマーケティングに関する情報のシャワーを浴びながら、実践に活かす方法を探っていきます。AI時代の業界における活用法を探りながら進めます。新規に参加された企業向けにAIの基礎知識も共有し、さらなる進化を目指します。前半3か月間は学びの期間としカイロスマーケティング社からMAの活用事例や富士フイルムBIさんのRevoria Cloud Marketingについても学びます。また生成AIのトレンドも変わってきているので広告との関連性や市場研究も取り入れていきたいと思います。前半での学びを踏まえ、中間発表会後の後半3か月間はこれまでの学びを活かし各社共通の課題を設定し、実証実験を行う場とします。成功や失敗の経験を共有し、11月の全国発表大会で発表できる内容を目指していきますと述べられました。



デジタルマーケティング研究会
山本リーダー



デジタルマーケティング研究会

■リーダー：中條 遥 氏
〔河北印刷 株式会社 社長〕

2026年度はもう少し目線を上げ、「経営感覚を持つリーダーの育成」および、「リーダーとしての変革」をテーマとして、

- ・経営者との対話や、異なる会社からの参加者との対話に触れながら、リーダーとしての経営感覚を養っていくこと。
- ・現場での判断や関わり方を経営的な視座で考えることができるようになること。
- ・理想のリーダーとなるため、自分自身が成長できていること。

を目指して進めていきます。

引き続き稲葉先生にご協力いただき活動プログラムを進めていきます。

第1回：参加者が自社の経営の現状と課題を把握し、自身と向き合う。

第2回：自社の経営者と対話し、自身の考えとの違いを言語化して共有する

第3回：経営課題を構造的に捉え直し、自身の考えを見つめ直す

第4、5回：会社における自身のマネージャーとしての目標を設定する

第6回：会社に対してどのような成果を出すかを宣言する。

また目標宣言後の実践状況についてもフォローアップを実施する計画です。

経営目線という、言葉では簡単に言いますが、現場と経営のギャップがあると言われる経営者も多いと思います。ギャップを少しでも埋めるため経営目線を持った管理職や、リーダーの皆さんにはこの研究会で学び、その感覚を養っていただき一緒に活動していきたいと思っています。と述べられました。



人財育成研究会
中條リーダー



人財育成研究会

DX研究会

■リーダー：林 敬太 氏
〔株式会社 オーディーピーセンター 会長〕

昨年に続き、「業務合理化のDXを実現し、より高効率のワークフローを構築していく」をテーマとします。今期は生成AIに注力し、各社の実務的な成果を持ち寄り共有していきたいと思っています。FreeFlow CoreからPressReadyへの移行計画もテーマとして継続します。今年はサブリーダーとして、東洋美術印刷の及川氏と、コームラの小森氏に担っていただき小森氏はPressReadyへの移行に関するテーマを担当していただき、進めていきます。

前半は各社の目標設定の共有、またPressReadyについては作成したサンプルワークフローを各社でテスト評価していきたいと思っています。後半は生成AIの成果発表や、PressReadyのトライアル参加者を増やして評価を継続します。PressReadyへの移行にはまだ課題があるためFreeFlow Coreの継続利用等についても富士フィルムBI様への協力も要望したいと思っています。全国発表大会では実際に生成AIを活用し、発表者が登壇しない発表形式を試みたいと述べられました。



DX研究会
林リーダー



DX研究会

■リーダー：根本 一郎 氏 〔東洋美術印刷 株式会社 次長〕

活動テーマは「2年間かけて作成した技術本を今後どのように活用し、ビジネスに繋げていくか」を進めていきたいと思っています。技術本の内容を基に商材開発やデータ作成方法の普及を目指します。また「Plaza DSF」を活性化させ、各社の技術や加工設備の情報共有を促進し、相乗効果も生み出したいと思っています。実際の事例に勝るものはないので各社の事例を共有することも進めます。メンバーがそれぞれ事例を持ち寄って共有することを目指したいと思っています。また新しいメディア（用紙）の可能性を探り、商材作りについての議論や増加しているCanvaでの入稿データへの対応策も検討したいと思っています。そして、研究会内でODPグラフィックアワードのようなコンテストを開催し、成果物の共有と提案力の向上を図りたいと思っています。職種や部門によって仕事の捉え方が違うことを改めて認識し、多様な目線を持って研究会を運営していきたいと述べられました。



ODPグラフィック研究会
根本リーダー



ODPグラフィック研究会

経営者の会

■担当理事：矢野 剛 氏 〔株式会社 明光社 社長〕

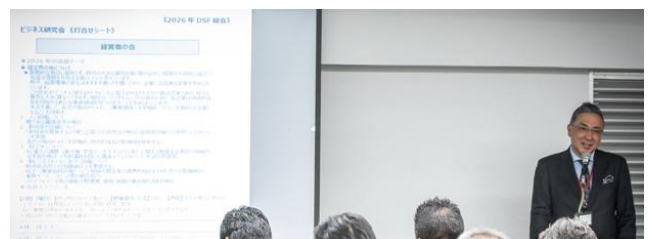
- 「人」「新技術」「AI・DX」「連携」の4つを大きなテーマとして活動します。
- ・人：人材不足問題の解消に向け地域や会社ごとの事情を情報交換する。
 - ・新技術：富士フイルムビジネスイノベーション社の新技術をいち早く共有し、経営に活かす。
 - ・AI・DX：AIが世界をどう変えるかという視点で研究する。具体的なツール活用は他研究会と連携する。
 - ・連携：会員の信頼関係という「宝」を形にする。特にBCPや業務の相互協力を強化する。

DSFは大変密度の濃い活動を実践しており、何よりも私たちが仲間として本当に信頼を持って活動してきました。これが一番の宝なのかもしれません。この宝をもっと形にするといったことでBCPでの業務連携も考えていきたいと思っています。

活動スケジュールは他の研究会の日程を考慮して調整していきます。特に「AI」と「連携」に重点を置いて取り組んでいきます。と述べられました。



経営者の会
矢野担当理事



経営者の会

■担当理事：生島 裕久 氏
〔株式会社 オンデマンド 社長〕

昨年のご協力企業へのお礼・感謝とともに、新規ご入会企業へのご協力を促し、DSFの社会貢献活動の概要をご説明されました。

生徒が自立するきっかけを届けることを目的に、全国の盲学校・視覚支援学校に漢字、英単語、世界の国旗の3種類の拡大本を提供しています。活動時期は8月から10月。昨年度の実績は21社のご協力により、676冊をお届けしました。昨年は私自身が直接学校に行ってお届けし、生の声を聞いて、今までは漫然と活動していた点もありましたが、改めて先生からの話を聞くことができました。そして本を届けているのではなく生徒が自立するためのきっかけをお届けしているという事に改めて気づきを得ました。しかも市販されていない為、私たちが考えている以上に大事な活動になっているのかもしれません。



社会貢献活動
生島担当理事

「届けましょう。我々でしかできない拡大本を！」

今年も皆様のご協力よろしくお願いいたします。と話を締めくくりました。



社会貢献活動 「全国の盲学校・視覚支援学校への拡大本の寄贈活動」

* ご挨拶

■富士フイルムビジネスイノベーション：加藤 喜之 氏
〔富士フイルムビジネスイノベーション 株式会社 執行役員 GC事業本部 副本部長〕

1986年に旧富士ゼロックス入社。主に営業畑を歩み、昨年4月よりグラフィックコミュニケーション分野を担当します。よろしくお願いします。

今回、皆さんの活動を聞かせていただき本当に素晴らしいと思いました。これも30年間ずっと続けてきたという継続の力で、そこに魂を入れているのはまさしく皆さんだと感じました。この活動は本当に素晴らしいというふうに改めて感じた次第です。研究会の活動においてもAIやDXなどは全て研究会の中に横串で刺さっていると思いますが、私たち富士フイルムビジネスイノベーションでも製品やサービスに投入し、皆様方の業務や生産性に貢献できるように頑張っています。皆さんと共に成長させていきたい思いますので研究会の中でお力をお借りできればと思います。これからも一緒に頑張ります。引き続きよろしくお願いします。



加藤 執行役員

■DSF新事務局長：渡辺 正隆 氏
〔富士フイルムビジネスイノベーション 株式会社 GC事業本部 国内/AP営業企画部 部長〕

DSFは非常に素晴らしいコミュニティであり、会員の皆様方の熱量や活発な意見交換がこの会を進化させてきていると感じています。私自身これまでとは違った距離感でこれまで以上にDSFに関わってきている中でその価値を強く感じている次第です。そしてこのDSFをさらに進化させるために事務局だけでなく、GC事業本部や営業部門も含め、DSFに新しい連携をもたらす支援をしていきたいと思っています。今後は参加企業の皆様のビジネスに貢献できるようDSFの運営を目指していきたいと思っています。



渡辺 事務局長

■DSF副会長：笹井 靖夫 氏
〔共立速記印刷 株式会社 社長〕

各研究会の発表についての総評を次のように述べられました。

- * デジタルマーケティング研究会
MA、AIなどのトレンドを研究・実践する一年に期待。
- * 人材育成研究会
経営者は孤独といわれるので経営と現場のギャップを埋める活動に期待。
- * DX研究会
現場主体の実践的な活動として、各社の利益に直接つながることを期待。
- * ODPグラフィック研究会
過去2年で作成した技術本をビジネスに活かす事例作りに期待。
- * 経営者の会
人・新技術・AI・DX連携の4テーマで活動。FP社の新技術情報の提供が鍵。
経営者間のより濃い交流が大切。
- * 社会貢献活動
DSFだからこそこの活動。会社の存続意義の一つとして多くの会員に参加して欲しい。

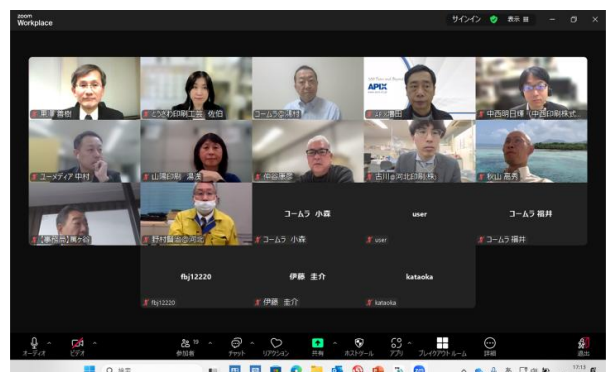
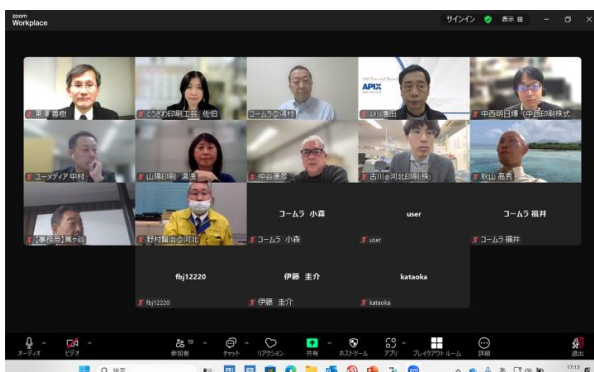
最後に富士フイルムビジネスイノベーションメンバーへの感謝の言葉を述べられ、DSFは、参加者の皆さん全員で作る会だと思っています。このDSFを通して、「無義をもって義とす」のような一年にできればと思います。今年一年間よろしくお願いいたします。と結ばれました。



笹井副会長



全体集合写真



リモート参加 Zoomキャプチャ

総会終了後の懇親会は、京橋にある「アンジェリオン オ プラザ Tokyo」にて開催されました。

司会進行は恒例の当日指名で、オーディーピーセンターの水越さんをお願いし、株式会社三恵社の木全社長に乾杯のご発声をお願いしました。歓談が進む中、今回の皆さんからのお話は「あなたにとっての今年を『漢字 1 文字』に例えたら？」というテーマで語っていただきました。

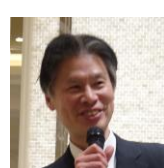
お酒と料理とお話が進む中、楽しい時間はすぐに過ぎ、ヤマゼンコミュニケーションズ 山本社長の中締めで、今年一年頑張ることを誓い合い、記念の集合写真を撮影したあとお開きとなりました。



《司会：水越さん》



《乾杯：木全社長》



《中締め：山本社長》



※ 次回中間発表会は2025年7月3日・4日（金・土）大阪での開催を予定しております。会員の皆様には多数のご参加をお待ちしております。